

2026年2月27日

ポジティブ・インパクト・ファイナンスのモニタリングレポートの開示について

株式会社東和銀行（頭取 江原 洋 以下、「当行」）は、2024年4月からポジティブ・インパクト・ファイナンスの取り扱いを開始し、2026年1月末時点で9社のお客さまにご利用いただいております。そのうち、1社のお客さまに対しモニタリングを実施いたしました。

ポジティブ・インパクト金融原則では、透明性の確保と情報開示が求められており、そのモニタリング結果について開示いたします。

当行はこれからも、お客さまの多様化する資金調達ニーズに応え、SDGsの趣旨に賛同するお客さまとともに、持続可能な社会づくりを目指してまいります。

記

1. モニタリング実施先

| | |
|--------------|----------------|
| 会社名 | 武蔵コーポレーション株式会社 |
| 当初評価日 | 2024年8月30日 |
| モニタリング基準日 | 2025年8月末 |
| 融資及びモニタリング期間 | 5年間 |

2. KPI 一覧及び結果

(1) ペーパーレス化を通じた環境保護への取組み

| | |
|-----------|---|
| インパクトの種類 | 環境的側面においてネガティブインパクトの低減 |
| インパクトカテゴリ | 「廃棄物」 |
| 関連する SDGs |  |
| 内容・対応方針 | 不動産契約に係る契約書等の電子化及び社内資料の用紙節約を促進し、紙の使用量を削減することで環境に配慮する。 |
| 目標と K P I | 2030年度までに武蔵コーポレーションのコピー用紙使用枚数を2023年度対比で50%削減する。（2023年度実績：1,405,000枚/年） |
| 実績 | 2024年度実績：942,500枚/年 2025年度実績：920,000枚/年 |
| その他 | 全社を挙げてDXを推進し、不動産売買契約書の電子化推進や社内資料のペーパーレス化を促進しております。 |

(2) 空き家問題解決を通じた街づくりへの取組み

| | |
|-----------|---|
| インパクトの種類 | 社会的側面、環境的側面においてポジティブインパクトを増大 |
| インパクトカテゴリ | 「住居」「資源強度」 |
| 関連する SDGs |   |
| 内容・対応方針 | 空き家問題解決に向け、関東圏内中古収益不動産の買取・再生に注力し、物件の長寿命化により資源の効率的な利用に貢献しながら入居者にとって手ごろかつ満足度の高い住居を提供する。管理のいき届かない中古収益不動産を再生することで、安心安全な住みよいまちづくりを目指す。 |
| 目標と K P I | 2030 年度までに武蔵コーポレーションによる中古アパート・マンションの買取を 220 件/年、販売を 220 件/年に増加させる。 |
| 実績 | 2024 年度実績：買取 192 件（達成率：87.2%）、販売 181 件（達成率：82%） 2025 年度実績：買取 146 件（達成率：66%）、販売 256 件（達成率：116%） |
| その他 | 現状、未達成となっておりますが、2030 年度までの達成と考えると進捗としてはビハインドしていないと考えております。足元の買取件数は増加しております。 |

(3) 人材の採用を通じた雇用創出の取組み

| | |
|-----------|---|
| インパクトの種類 | 社会的側面においてポジティブインパクトを増大 |
| インパクトカテゴリ | 「雇用」 |
| 関連する SDGs |  |
| 内容・対応方針 | 自社採用サイト及び福利厚生の充実を通じ、採用を積極的に行い、雇用の創出に寄与していく。 |
| 目標と K P I | 2030 年度までにグループ全体の正社員を 250 名とする。 (2023 年度実績：145 名) |
| 実績 | 2024 年度実績：143 名 2025 年度実績：171 名 |
| その他 | 福利厚生面を充実させ、働きやすい環境を整えております。また、2026 年度の新卒採用予定は 25 名を予定しております。自社サイトの採用ページについては、社員の写真を多くすることで社内の雰囲気を理解していただき入社後の期待ギャップを防止しております。 |

(4) 奨学金貸与事業を通じた教育への取組み

| | |
|-----------|--|
| インパクトの種類 | 社会的側面においてポジティブインパクトを増大 |
| インパクトカテゴリ | 「教育」 |
| 関連する SDGs |  |
| 内容・対応方針 | 公益財団法人武蔵奨学会を通じて、埼玉県内の小学4年生～高校3年生に向けた返済義務のない奨学金の給付を行い、未来を担う学生の育成に寄与していく。 |
| 目標と K P I | 2030 年度までに奨学金貸与者数を 20 名／年とする。(2023 年度実績：7 名／年) |
| 実績 | 2024 年度実績：7 名／年 2025 年度実績：8 名／年 |
| その他 | 2030 年度までの達成を考えると進捗としては大きくビハインドしていないと考えております。来年度以降年間 2 名増加することで、2030 年度に 20 名達成できると思慮致します。 |

以上